

第1章 平成17年度の研究について

高本 洋 徳田 いずみ

1 研究テーマ

幼児期の「学び」を探る ～「からだ」で感じるということ～

2 テーマ設定の理由

私達は昨年度までの6年間、「友達とかかわり合いながら創る生活」という研究テーマを掲げ、実践研究を積み上げてきた。平成15年度には、指導計画の見直しをし、「友達とかかわり合いながら創る生活プラン」を作成した。また、昨年度はサブテーマとして「教育課程の再編成」を設定し「平成16年度版教育課程」を編成した。どちらも、個々の具体的な事例を検討しながら、目の前の幼児らの姿を中心に据えて作成してきた。このとき、幼児らの姿をもとに育ちや発達ステップを見ていく中で、“☆歳児として”の育ちや“その時期”の育ちといった、大きなまとまりや集団としての見方がどうしても求められる。そのため、どれだけ意識していても、一人一人の見とりから離れがちになってしまうことに気がついた。そこで、もう一度保育の原点に戻って、一人一人の姿をていねいに見取っていく必要性を感じた。その際、一人一人の幼児が、何を『学んで』いるのかをしっかりと捉え直していくことが大切なのではないかと考えた。

また、昨年度、教育課程を再編成するに当たって、当初、小学校低学年までをカバーする教育課程を作成しようと考えていたが、実際は作成するには至らなかった。しかし、小学校とのかかわりの中で幼稚園と小学校の接続部分を幼稚園サイドから発信しようとするときには、幼稚園における『学び』の中身をしっかりと捉える責任を担っていると私達は考えている。すなわち、一人一人の幼児らが遊びの中で何をどのように『学んで』いるのかをはっきりさせておくことで、例えば小学校の先生が幼稚園の遊びを見たときに、「この子はこの遊びでこんなことを学んでいるのですよ」と説明することができる。だからこそ、「小学校への滑らかな接続」を考える上で、幼児期の『学び』とは何かを私達なりにはっきりさせておくことが大切なのではないかと考えた。

以上が、今回新しくテーマを設定した理由である。

3 サブテーマ『～「からだ」で感じるということ～』の設定の理由

エピソード① 「みんなより遅くなるのがいやだから」

5歳児4月

お弁当の時間、みんな楽しそうに話をしながら食べている中、一人だけ弁当を食べないA児の姿があった。

教師 「A児ちゃん、お弁当食べないの？」

A児 「うん、食べないの」

教師 「どうして」

A児 「みんなより遅くなるのがいやだから」

そう言うと、A児は泣き出した。

A児は、何か腑に落ちないことがあると食べなかったり、みんなより早くできないと感じた時に泣き出したり、都合が悪くなるとその場から逃げ出したりする。「できる」とか「一番」とか結果を気にする余りそのような行動を取ると思われる。

エピソード② 「虫はね、冬は冬眠しているんだよ」

3歳児2月

B児 「先生！虫つかまえたよ！」

3歳児のB児がうれしそうに教師につかまえた虫を見せにきた。一緒にいたC児とD児も嬉しそうにしている。

教師 「すごいね、B児くんがつかまえたの」

B児 「うん。ねえ、これ何て虫かな」

C児 「調べてみようか」

D児 「うん、そうしよう」

とにかくうれしくて、大騒ぎである。そこへその光景を近くで見ていたE児が

E児 「虫はね、冬は冬眠しているんだよ」

と口を挟んだ。ところが、B児、C児、D児たちは、E児の言葉には特に反応を示さず、つかまえた虫に見入っていた。

E児は、楽しい雰囲気の中へやってきて、場の状況に合わない言葉を発している。E児はいろいろなメディアへの接触が多く、そこから得た知識はたくさんあり、自分の得た知識を使っ
てかかわっているものの、虫に触れることはほとんどなく知識先行を感じさせる。このような
幼児は、E児の他にも見られる。

この他、親の過干渉によって、幼児自らが体験する機会を逃していると思われる姿も、日頃
の保育の中でよく見られる。

私達は、このような事例を検討し分析した時、これらの幼児の姿の根底に共通してあるのは、
どうも直接体験の不足なのではないかと捉えた。そして、幼児が幼稚園という環境の中で五感
をフルに働かせながら、からだ全体でものごとを感じとることが、私達の捉える幼児期の『学
び』につながるのではないかと考えた。

そこで、サブテーマ「からだで感じるということ」を設定し、幼児がからだで感じとってい
ると思われる事例をできるだけ収集し、検討することを通して、テーマに迫っていくことにし
た。

4 研究の目的

- ・幼児期の『学び』を明らかにする。

5 研究の方法

- ・各クラス抽出児を選出し、追跡観察をする。
- ・抽出児の事例を収集し、「抽出児の『学び』」と「教師の『学び』」を洗い出す。
- ・事例における『学び』を教師間で検討する。